

第5回交通政策審議会航空分科会基本政策部会

日時：平成25年3月12日（火）9：30～12：00

場所：中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

主なご質問・ご意見：

＜空港会社に関する論点についてのご質問・ご指摘＞

○成田空港について、前々回会合でLCC各社から空港アクセスの重要さが指摘されたが、空港側の認識はどうか。また、ビジネスジェットの利用の伸び悩みをどう改善して採算性確保につなげるか。

○成田空港のカーフェリーの運用弾力化について、歴史的経緯や地元との協議の難しさを理解するが、国民的な要請も踏まえて訴えていくべき。

○新関空について、コンセッション方式を導入する前提条件は何か。2014年の成長目標の達成状況やそれ以外の収益性の指標も見るのか。

○新関空について、複数空港の一体化のメリットは何か。欧州の事例では規模の経済性が希薄な一方、独占による価格の高止まりが起きるため、空港間の競争を促すべきとの意見があるが、どうコスト削減を図るか。経営戦略上、一体化により初めて実現することは何か。伊丹をどう活用するのか。

○中部では、「昇龍道プロジェクト」が進められているとのことだが、地域経済との連携はどのように進めているか。

○空港本体の運営と非航空系業務との運営一体化により初めて出来ることは何か。

○空港経営の国際展開において、我が国の強みは何か。

＜地方自治体に関する論点についてのご質問・ご指摘＞

○仮に仙台空港がコンセッションの段階に至った際には、県は経営・運営にどういった関与をしていくのか。

- 民間による機動的で柔軟な経営が、地域活性化に具体的にどうつながるか。また、民間事業者にとっての具体的なビジネスチャンスはどこにあるか。関係者の多様化による円滑な調整の必要性など将来的に何が課題か。
- 仙台空港はアクセス鉄道も含めた全体最適化を図る点で特徴的だが、さらにビジネス力向上の具体策があるか。他空港含め、二次交通確保の隘路は何か。
- 仙台空港は県域を越えた東北圏のハブであり、国土形成計画や広域地方計画も踏まえた広域的観点が必要だと思うが、地方自治体として広域的ニーズをどう汲み取るか。
- 国管理空港の運営事業に地元が参画していく可能性はあるか。

＜有志委員のプレゼンに関する論点についてのご質問・ご指摘＞

- LCCについて、今は参入直後の初期効果で需要が増えているとのことだが、人口の制約がある以上、いずれは頭打ちが考えられる。従来のエアラインとはまた違う状況に直面することになると思うが、将来性をどう捉えるか。
- 海外の空港経営では、駐車場収入で利益をカバーしているとのことだった。従来の日本では料金を下げて航空利用を促したが、今後どうすべきか。
- LCCを含めた航空事業者は、常に海外の後追いの状況だが、我が国なりの知恵や工夫、他モードのノウハウを活かした打開策を打ち出せないか。